

除菌

抜群の除菌能力

特徴

pH弱酸 /
6.2~6.8

安定

顆粒状で安定

安全

高い安全性

ノロクレンの除菌成分は「ジクロロイソシアヌル酸」です。

通常食品工場で使用されている次亜塩素酸ナトリウムとは大きく異なります。

業務用塩素系除菌剤

ノロクレン
NoroClean

ウイルス・芽胞菌対策

本品は塩素剤が配合されています。酸性洗剤や漂白剤等の薬剤と混合すると、有毒な塩素ガスが発生しますので、同時に使用はしないでください。

環境&衛生化学薬品専門メーカー

PCC PureChemica

〒720-0031 広島県福山市三吉町3丁目2-16-302
TEL・FAX 084-954-0853 Mobile.080-9352-0555

purechemica.jp



ジクロロイソシアヌル酸

VS

次亜塩素酸ナトリウム

除菌力
非常に
強力

安全性
高い

腐食性
軽微



WIN

ノロクレンでの結果



次亜塩素酸ナトリウムでの結果

除菌力
普通

安全性
強アルカリ性で
手荒れ等

腐食性
鉄に対して
腐食性有り

■ノロクレンを水 10ℓ に対して 3.5g 有効塩素濃度、約 200ppm です。(※一般生菌 / 大腸菌の結果です)

■比較テストを行ない、常に好成績を残しています。ぜひ一度、検査を実施して頂き、除菌効果をご確認ください。

ノロクレンは、それぞれのウイルス・芽胞菌・細菌に対して、決まった使用場所で除菌能力を発生します。生成した次亜塩素酸はイオン化しない状態で存在し続けます。

※給排水設備：藻・スライム・黒カビの除去剤にも使用しています。

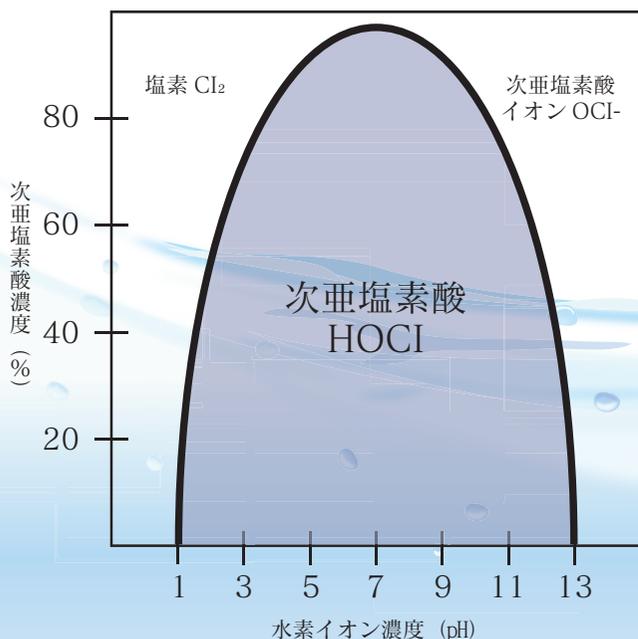
ノロクレン使用時のプログラム

除菌

水洗

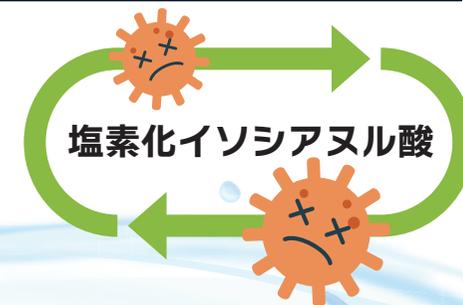
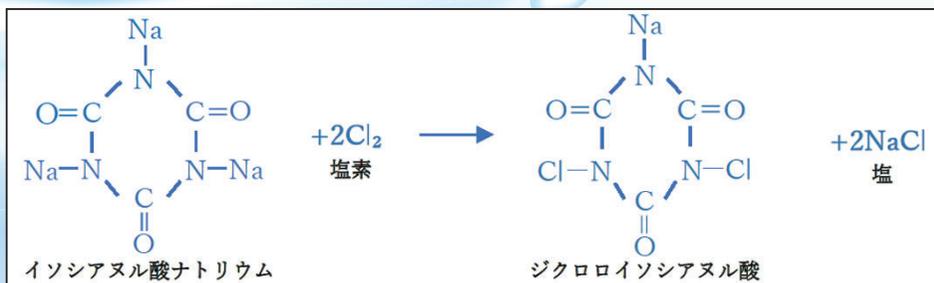
2工程

ノロクレンを使用した際の除菌工程



塩素系殺菌剤は、細菌の細胞壁を酸化変性させ、内部圧に耐えられなくなった細胞壁が破壊されることにより、殺菌力を発揮するものと考えられています。塩素系殺菌剤の殺菌力は、各種データより次亜塩素酸の方が、イオン化しているものに比べ 50 ~ 100 倍強い除菌効果を示す結果が得られます。従ってイオン化していないものの方が細胞壁に対する作用効果が高いためであると推測されます。

■水溶液中での次亜塩素酸の生成割合は、水素イオン濃度に依存しており、弱酸性で最も割合が高くなります。



塩素化イソシアヌル酸

ノロクレンに含まれている塩素化イソシアヌル酸は、水に溶解させると加水分解し次亜塩素酸を発生することにより除菌力を発揮します。また、ノロクレンのpHは6~7で、イオン化しません。

■ノロクレンの使用方法

★細菌が栄養型の場合、ノロクレンを 0.035%(有効塩素濃度 200ppm) 溶解させ、5～10 分間噴霧、浸漬、又は循環し除菌する。※水温は芽胞を形成させないように 40℃以下で行う。

ノロクレン (有効塩素濃度) 200ppm、水温:(25℃)		処理時間				
		初発菌数	10 分後	30 分後	60 分後	120 分後
B.Subtilis (9372R) 枯草菌	栄養型	5.9×10^5	—	—	栄養型	栄養型
	芽胞	1.2×10^6	3.9×10^4	4.5×10^3	1.5×10	—

■すでに芽胞を形成している場合、0.1%溶液(有効塩素濃度 500ppm)の高濃度溶液で、常温で数時間除菌を行う。(但し、高温で行った場合は、金属が変色する可能性が有ります。)

★ノロクレンを溶かす場合は、必ずお湯 30℃で予め溶かしてから、水の量を調整してください。

■ノロクレンのウイルス対策

★ウイルス：コロナウイルス・鳥インフルエンザウイルス効果的 ■細菌：芽胞菌/大腸菌/サルモネラ菌/レジオネラ菌/白癬菌効果的、その他

★ノロクレンの希釈倍率は、水 10ℓ に対し 2～3g を溶解させ、除菌液として御使用ください。

★ディスペンサー容器に入れてから、使用してください。

★専用除菌マットでノロクレンを約 7～10g、500～1000ppm で靴、長靴を除菌してください。

★パソコンや機械類に使用する場合は、水 10ℓ に対しノロクレンを 2g 投入して、タオルに湿らせてから拭き取ってください。

■空港会社：機内、ターミナル、テーブル、トイレ、手すり、ドアノブ、窓口

■鉄道会社：駅ホーム内、トイレ、手すり、ドアノブ、椅子

■食品製造工場：ベルトライン、調理器具、作業台、洗濯機、白タオル、長靴槽、床下、壁

■病院：白衣、手すり、ドアノブ、テーブル、椅子、床下、トイレ、バスマット、スリッパ

■養鶏場：畜産：貨物自動車ゲート、器具、長靴槽、除菌マット、鶏舎内：牛舎周辺の散布

■動物病院：ペットショップ：ケージ、器具、トリミングテーブル

■建設工事会社：室内、車内、車のタイヤ、循環式浴槽、内装、外壁、木材、砂場

■ビルメンテナンス会社：エアコンフィルター、冷却塔、クーリングタワー(藻・スライム・カビ)

■その他：学校、ホテル、老人ホーム、スーパーマーケット、鮮魚市場、プラント工場、ごみ処理場、遊園地、公園、スポーツグラウンド、スポーツジム、観客ベンチ、柔道畳

※ノロクレンを水 10ℓ に対し 2 g 投入して溶かすと、有効塩素濃度は 100ppm です。厚生労働省が定められた塩素濃度です。

■有効なウイルス及び細菌一覧表 【1. ウイルス】

	ウイルス名	主な動物の疾病
外膜のあるウイルス	コロナウイルス	家禽（鶏、アヒル、七面鳥）気管支炎（IB）、豚腸炎（TGE）、犬ウイルス性腸炎、猫伝染性腹膜炎
	ヘルペスウイルス	牛伝染性鼻気管炎（IBR）、豚オーエスキー病、犬、猫伝染性鼻気管支炎
	イリドウイルス	アフリカ豚コレラ（ASF）
	オルトミクソウイルス	鳥インフルエンザウイルス、豚、馬インフルエンザ
	パラミクソウイルス	ニューカッスル病（トリ肺脳炎）、犬ジステンパー
	レトロウイルス	鶏白血病、馬伝染性貧血病、猫後天性免疫不全（FIV）
	ラプトウイルス	豚水泡性口内炎、狂犬病
	トガウイルス	豚コレラ（PRRS）、牛ウイルス性下痢症、サル黄熱病、ダニ媒介性脳炎
	アレナウイルス	無症候宿主、アメリカ出血熱群やラッサ熱の原因
	ブニアウイルス	牛、ヤギ、ヒツジ（リフトバレー熱）、げっ歯類（腎症候性出血熱、ハンタンウイルスの宿主）
外膜のないウイルス	アデノウイルス	鶏産卵低下症候群、犬伝染性肝炎、ハムスター腫瘍ウイルス
	ビルナウイルス	ニワトリ伝染性ファブリキウス嚢病（ガンボロ病）
	パルボウイルス	牛、豚、犬パルボウイルス感染症（胃腸炎）、猫汎白血球減少病
	ピコルナウイルス	豚、牛口蹄疫、ブタ水疱病、（皮膚、粘膜症）、豚テツツェン病、無菌性髄膜炎（中枢神経感染症）
	ポックスウイルス	鶏、豚痘瘡、偽牛痘
	レオウイルス	鶏ウイルス性関節炎、豚、牛嘔吐下痢症（ロタウイルス）
	パポバウイルス	ウサギ、ハムスター、ヒツジ、牛、シカ、馬、犬、猿乳頭腫
	カリシウイルス	ブタ水疱性発疹、ネコ呼吸器官障害

■有効なウイルス及び細菌一覧表 【2. 細菌】

	細菌名	細菌による主な疾病
グラム陽性菌	Bacillus anthracis	炭疽菌 牛、馬、ヒツジ等の草食性家畜、皮膚炭疽、肺炭疽、腸炭疽（伝染病）
	Bacillus cereus	セレウス菌 溶血性毒素を出す（食中毒菌）
	Clostridium perfringens	クロストリジウム 動物の壊死性腸炎
	Enterococcus	腸球菌 病原性は低いが、稀に心内膜炎、尿路感染症、食中毒を起こす
	Listeria	リステリア 免疫力の低い動物に髄膜炎や敗血症を起こす
	Staphylococcus	ブドウ球菌 ブドウ球菌性肺炎、敗血症、骨髄炎、腸炎を起こす
	Leptospira	レプトスピラ 鶏、犬等で腎臓、肝臓、神経系を冒す
グラム陰性菌	Bordetella	ボルデテラ菌 犬の伝染性気管支炎、（ケンネルコフ）
	Brucella	ブルセラ菌 家畜や動物の流産、精巣炎を主徴とする感染症
	Campylobacter	カンピロバクター 鶏、豚等の動物に腸炎を起こす
	Escherichia coli	大腸菌 動物に胃腸炎を起こす食中毒菌
	Legionella pneumophila	レジオネラ菌 全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛、呼吸困難、幻覚、手足の震えを起こす
	Klebsiella	クレブシエラ 豚鼻炎等、動物の気管系に炎症を起こす
	Mycobacterium	マイコバクテリウム 牛、ヒツジに慢性下痢症を起こす、ラット、マウス、ハムスターに肉芽を起こす
	Mycoplasma	マイコプラズマ 牛肺疫、ヤギ伝染性脳膜肺炎、豚流行性肺炎等
	Pasteurella	パスツレラ 牛出血性敗血症、家畜コレラ、動物の肺炎や化膿の原因菌
	Proteus	プロテウス 稀に尿路感染、創傷感染を起こす
	Pseudomonas aeruginosa	緑膿菌 免疫機能が低下した際に、敗血症、肺炎を起こす
	Salmonella choleraesuis	サルモネラ ブタのチフス症
	Salmonella enteritidis	サルモネラ 急性胃腸炎
	Salmonella typhi	チフス菌 胃腸症状、肝、脾、骨髄等に全身感染症を起こす
	Shigella sonnei	赤痢菌 細菌性赤痢と急性胃腸炎の原因
真菌	Aspergillus	アスペルギルス 肺、気管支、脳腔、皮膚、外耳、副鼻腔、眼に壊死性、肉芽腫性の病変を形成
	Candida albicans	カンジダ 皮膚、粘膜カンジダ症
	Fusarium	赤カビ 牛肺気腫、毒素による中毒
	Microsporium canis	小孢子菌 ネコ、犬、サル等に頭部、体部白癬を起こす
	Trichophyton	白癬菌 家畜、ペットの皮膚真菌症